



PISA 調査 求められている学力

<p>ゼットランド新聞</p> <p>バスケットボールチーム 大会優勝!</p> <p>今シーズン全試合 で勝利</p> <p>今シーズンの得点 差の平均は19点</p>	<p>このシーズンの得点差の平均を踏まえると、このチームが実際にはどの試合でも19点差で勝ったことがないということはありませんか。</p> <p><input type="radio"/> はい</p> <p><input type="radio"/> いいえ</p> <p>理由を説明してください。</p> <div data-bbox="783 813 1398 909" style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div>
---	---

これは、国際機関である OECD（経済協力開発機構）が3年に一度実施している世界的な学力調査（通称 PISA）で出された問題（一部改編）です。昨年は、81 の国や地域がこの調査に参加しました。

日本の結果は「数学的リテラシー」「読解力」「科学的リテラシー」のいずれの分野も世界トップクラスであると発表されました。

結果もさることながら、注目したいのは問題の出され方です。上の問題は「数学的リテラシー」分野の問題です。数学というと、計算をしたり証明をしたりして、正しい答えを導き出すことだととらえがちですが、どうも様子が違います。

この調査の目的は、義務教育を終える15歳までに「学んだ知識や技能を実生活でどの程度活用できるかをはかること」と示されています。この問題文を読んでわかるように、単純な計算問題ではないばかりか、一度さらっと読んだだけでは、問いの意味すらはつきりしません。

「平均」という数学的な概念が、実際のデータの集まりと関連付けられ、意味づけられて理解しているだけでなく、それを明確に説明できる力が求められています。

答えは「はい」なのですが、その理由とセットで採点されます。「単なる平均に過ぎないから」や「これは差の平均なので、19点差以上で勝った試合もある」などの理由を書いた生徒は0点だそうです。

日本の生徒の正答率は26.6%とのことですが、みなさんならどのように理由を説明するのでしょうか。興味のある方は右の QR コードから詳しい資料にアクセスできます。



1・2・3月の主な教育活動

1月	曜	学校行事等	給	部
5	金	3学期始業式 3時間授業(給食・部活なし)	×	×
9	火	3年生参観・進路学習会 部活動なし 弁当	弁 当	×
11	木	1・2年生県学力調査 3年生実力テスト	○	×
15	月	専門委員会	○	/
17	水	読み聞かせ	○	/
18	木	高林カワラ-来校	○	○
24	水	1年生参観・懇談会	○	/
25	木	2年生学級立志の会・懇談会 学校運営協議会高林カワラ-来校	○	×
2月				
1	木	高林カワラ-来校	○	○
6	火	私立高校入試3年生給食なし	○	○
7	水	私立高校入試 読み聞かせ	○	/
14	水	技術・家庭テスト	○	/
15	木	定着度テストⅢ	○	○
16	金	私立高校合格発表	○	○
19	月	新入生用品販売 公立高校願書受付~21日	○	/
21	水	PTA新旧引継ぎ会	○	/
26	月	午前中授業(給食あり)	○	/
29	木	専門委員会(最終) 高林カワラ-来校	○	○
3月				
5	火	公立高校入試 3年生給食なし通学区会	○	○
6	水	公立高校入試 3年生給食なし	○	○
7	木	3送会 高林カワラ-来校	○	○
8	金	学年会計・ 積立金監査	○	○
11	月	PTA会計監査 部活動部長会	○	○
14	木	公立高校合格発表 高林カワラ-来校	○	○
18	月	卒業式準備・総練習 午前授業、給食なし	×	×
19	火	修了式 卒業証書授与式 給食なし	×	×

3学期始業式「学年代表の言葉」

1年生代表 渡部 美嘉
冬休みが終わり、いよいよ3学期が始まります。3学期に入ると、1年生は2年生、2年生は3年生になる準備をします。そして、3年生は進路実現に向けての最終準備入ると思います。

1年生は1学期、ならここへの地域探訪や東陵祭スポーツの部、2学期は東陵祭合唱の部がありました。私たちはこれまで、仲間意識を高め、みんなで協力することを目標に頑張ってきました。3学期は、これまで頑張ってきたことをベースにしながら、私はクラスでの呼び掛けをに力を入れたいです。1・2学期は、1分前着席や給食の配膳など日々の生活の中で時間に遅れてしまうことがありました。3学期は、これまでに高まった仲間意識と協力の精神で、授業前や給食の配膳などで積極的に呼び掛けをし、クラス全体で協力する意識を高め、時間

を守れるようにしたいです。また、あいさつもさらによくしたいです。あいさつは人をつなげる大切なものです。自分からあいさつをすることを当たり前にして、多くの人とつながっていけるようにしたいです。3学期の50日間は、4月に入学してくる「新1年生のお手本になる。」なるための準備をする学期にしていきたいです。

2年生代表 杉山 瑛汰朗
僕が3学期に頑張りたいことは二つあります。

一つ目は勉強です。3年生になって自分の行きたい高校に行けるようにするために、受験に向けての準備を始め、勉強に対する意識を高めたいです。県学力調査テストでは応用問題も多く出題されるため、基礎的な問題を解けるようにし、復習や振り返りを丁寧にしていきます。また、授業で分からないところをなくすために先生の話をよく聴き、学び合いの活動で積極的に意見を出していきたいです。1分前には落ち着いて着席をして、授業がよりスムーズに進められるような雰囲気クラスや学年全体で作ってきたいです。

二つ目はリーダーとしてクラスの前に立つことです。僕は、後期学級委員に選ばれました。2学期には班長たちと一緒に自分のクラスをよりよくしようと教室の環境を整えたり、1分前着席の呼びかけをしたりしました。3学期には、クラスみんなが過ごしやすい環境を自分たちでつくれるようにしていきたいです。リーダーとしてクラスがまとめられるように、挨拶や清掃、提出物などを誰よりも頑張っていきます。

3年生代表 倉島 佳佑
僕たち3年生は中学校生活も残り3ヶ月を切り、上級学校への入試を目前に控えています。入試は、中学校の学習や生活の集大成で、今後の自分を定める大きな分岐点なので、そこに向けてテストや面接の練習・対策を行っていく必要があります。

そんな中、僕が3学期に意識したいことは授業態度です。「受験は団体戦」という言葉があるように、この時期には授業の質を高め、クラス全体で受験に向かう雰囲気を作る必要があります。さらに、毎時間集中して授業を受けることで、授業の理解度が高まるだけでなく、内容が頭に入ったうえで家庭学習の効率もあげることが出来ます。そのため、まずは授業から、学習に向かう姿勢を確立したいです。

また、3年生はこれから将来を見据えた自立の時期に入っていきます。その第一歩として、中学校生活の終わりを気持ちよく締めくくるためにも、これから始まる3学期では自主性やメリハリなどの社会に出た時必要となることをより良いものにしていきたいです。

今まで一緒に頑張ってきた仲間たちと、残された中学校生活を大切にしながら、1、2年生が、「こんな3年生になりたい」と思える姿になれるように、さまざまな面でさらに高みを目指していきます。

